



# アイ・エム・アイ株式会社

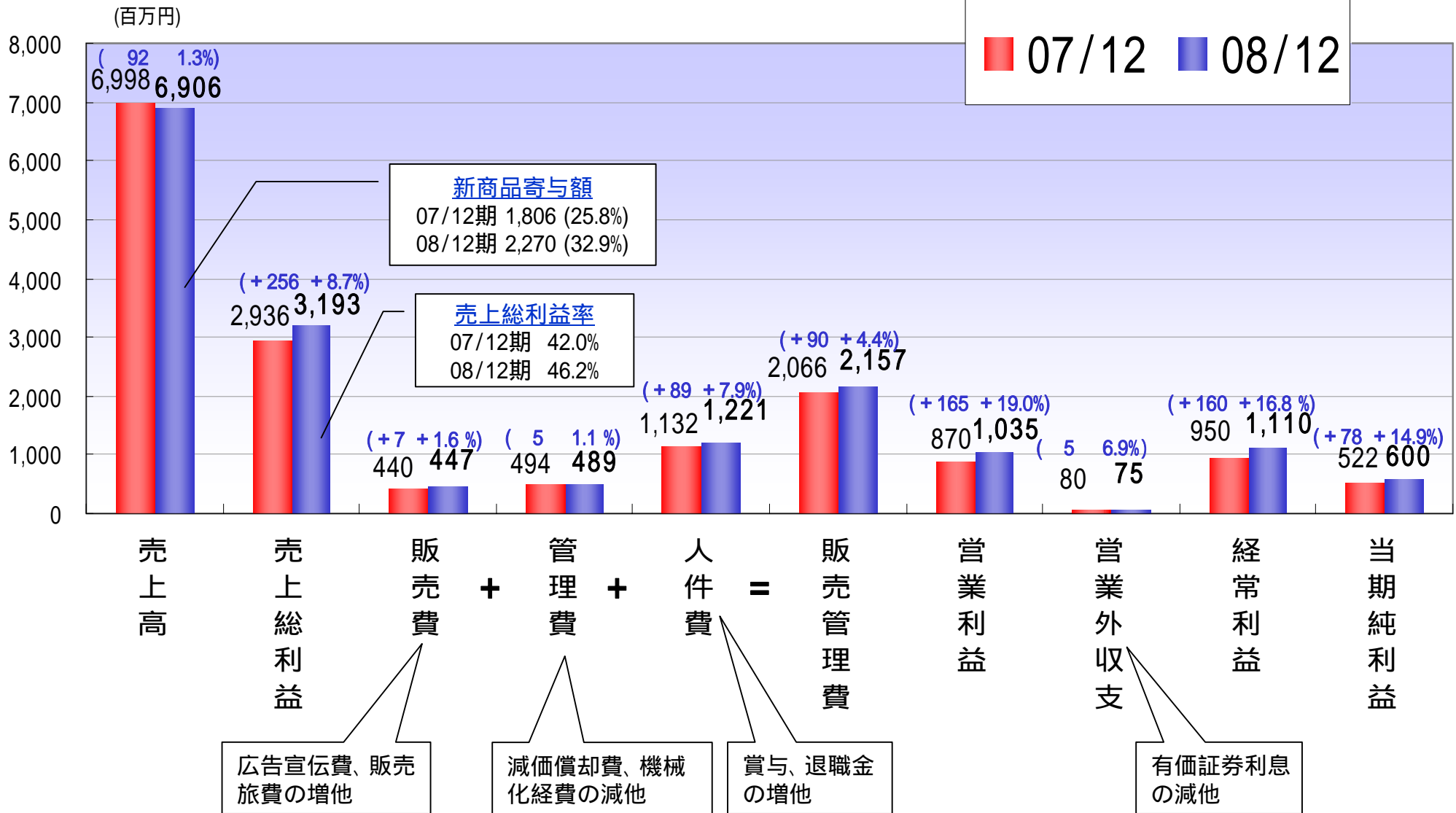
2008年(平成20年)12月期決算アナリスト説明会発表資料

於 東京証券取引所 6階 アナリスト協会会議室

2009年(平成21年)2月25日(水) 午後3時30分 - 4時30分迄

この資料に関するお問い合わせは 社長室 三原[Tel 048-988-4472 Fax 048-961-1350]までご連絡下さい。

# 2008/12期 対前年比較損益



売上合計は減少したもののレンタル売上の増加や円高による商品原価の低減などにより増益

## 2008/12期 売上実績

(百万円)

	前年比較		
	07/12	08/12	前年比
生体機能補助・ 代行機器	1,564	1,358	-13% 206
生体现象計測・ 生体情報モニタ	284	323	14% 39
その他商品	1,110	1,229	11% 119
IMI商品小計	2,960	2,912	-2% 48
旧子会社等取扱商品	901	568	-37% 333
レンタルサービス	1,717	1,970	15% 253
メンテサービス	1,419	1,456	3% 37
合計	6,998	6,906	-1% 92

計画比較			
計画	計画比	内新商品	その他
1,858	-27%	500	380
373	-13%	50	19
1,269	-3%	40	84
3,500	-17%	588	445
573	-1%	5	5
1,850	6%	120	77
1,507	-3%	51	42
7,430	-7%	524	326

前年比較：旧子会社等取扱商品の減少が要因。生体機能補助・代行機器は販売からレンタルに移行  
 計画比較：新商品の販売計画未達が要因。生体機能補助・代行機器は販売からレンタルに移行

## 2008年発売 主な新商品

### ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 エアウェイスコープ 【HOYA社製 08/4発売】



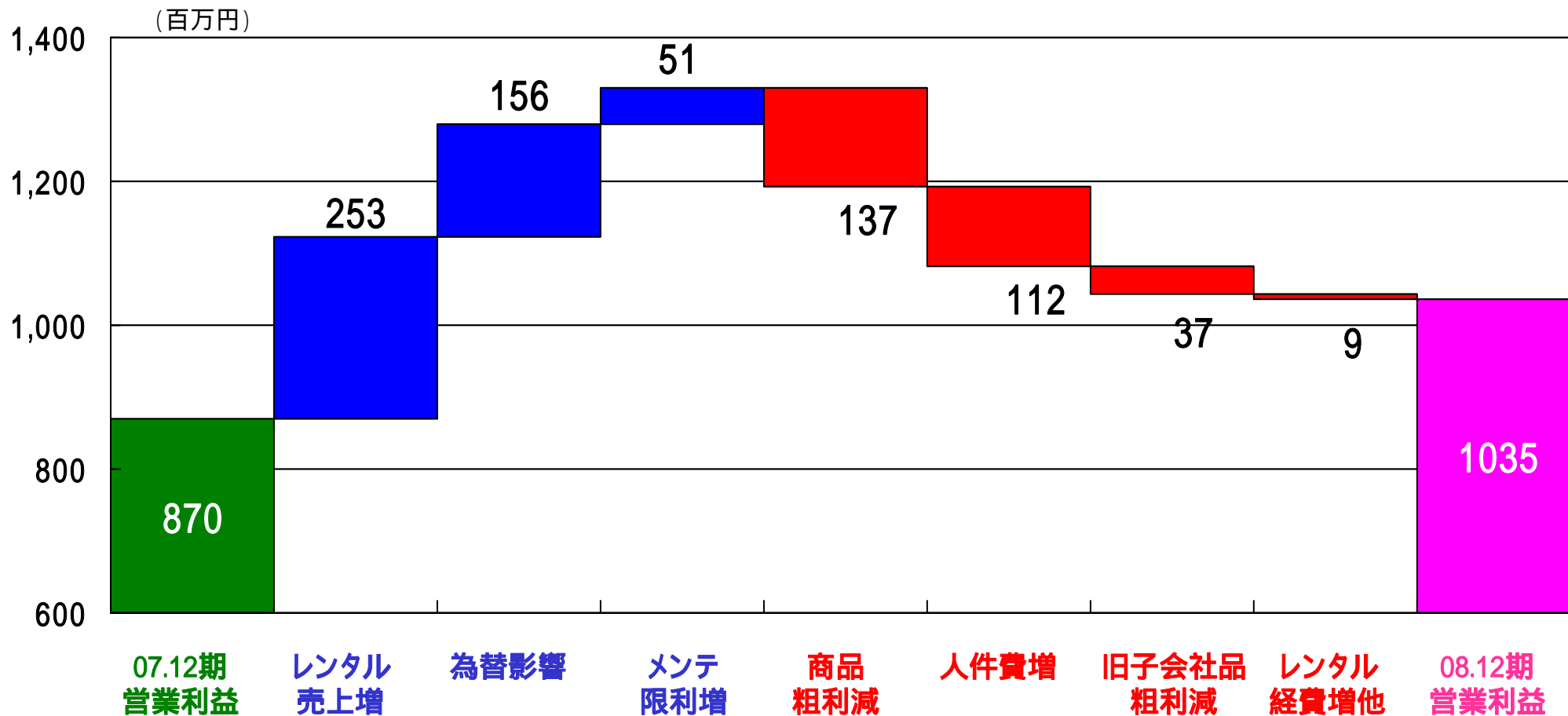
撮像用CCD及びLED照明を先端に取り付けたスコープを備えており、「イントロク」と組み合わせることにより、気管挿管時の様子を2.4型カラーLCDモニターで確認できます。  
経験数の多少によらず、すばやく正確な気管挿管をサポートすることができ、施術者や患者の負担軽減に大いに貢献します。

### 新生児脳機能モニタ ニコレーワン 【米国 カーディナルヘルス社製 08/5発売】



脳波の専門医でなくとも痙攣等のイベントや脳症の重症度の判定ができる画期的な脳機能モニタ。欧米では多くの論文が出版され、日本のDrから発売を心待ちにされていました。

# 2008/12期 営業利益 対前年比 +165百万円 要因



## 円安影響

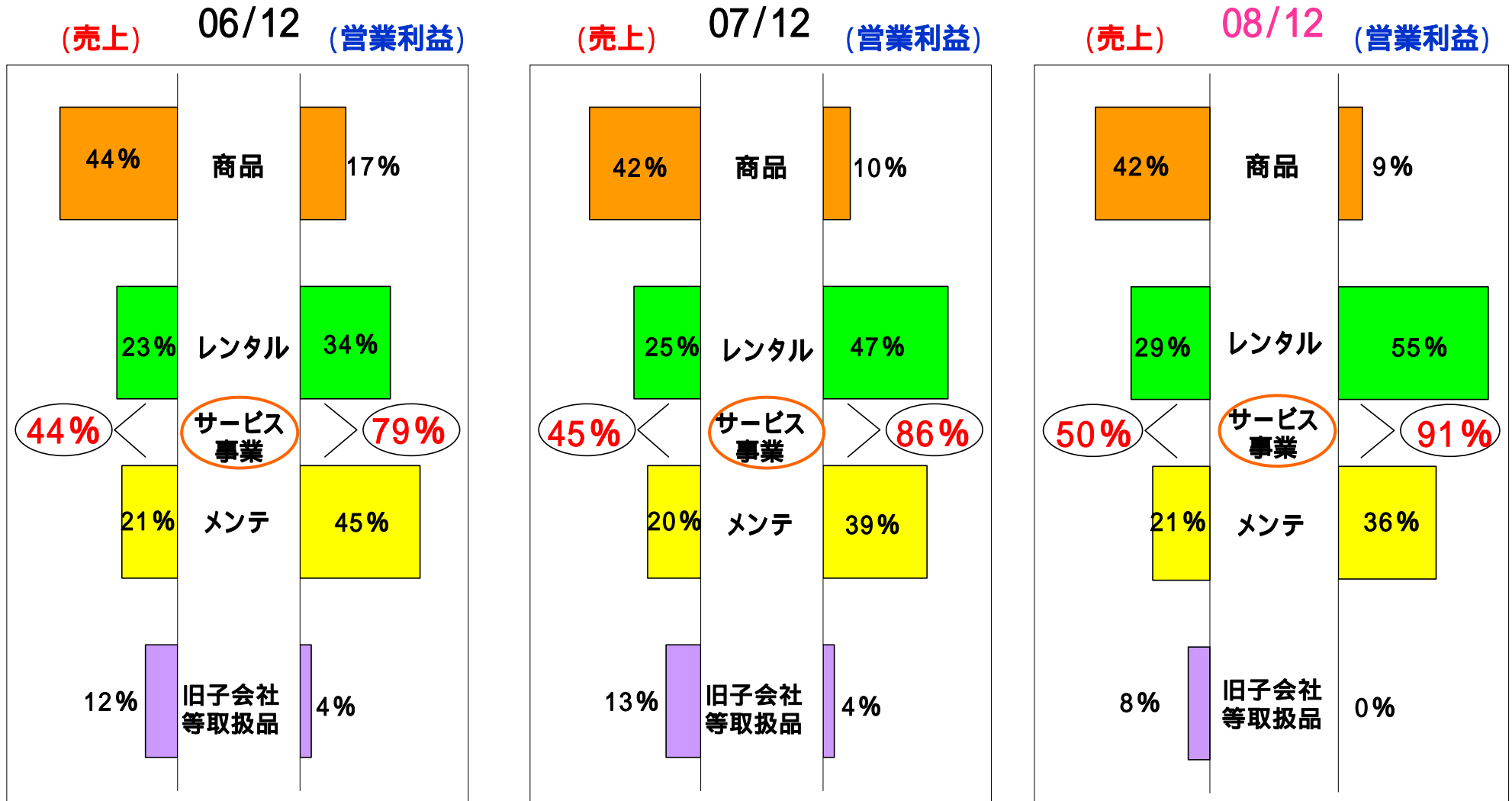
08平均為替レート 1\$=¥105.5 [前期比¥14.0(11.7%)の円高]

1EUR=¥166.6 [前期比¥2.3(1.4%)の円安] の影響等で、156百万円の原価減

\$レート1円円高(安)の売上総利益への影響 年間約11百万円

EURレート1円円高(安)の売上総利益への影響 年間約2百万円

# 2008/12期 売上と営業利益の実績構成比率表



**レンタルの売上が増加し営業利益の構成比率は55%に上昇  
メンテナンスと合算したサービス事業の営業利益構成比率は91%となった**

## 2008/12期 キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>				<b>1,491</b>
税引前純利益	1,056	減価償却費	520	
仕入債務の増	115	売上債権の減	84	
法人税等の支払	354	その他	70	
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>				<b>1,423</b>
投資有価証券の取得	723	有形固定資産取得	537	
定期預金への預入	300	その他	137	
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>				<b>424</b>
配当金の支払	282	自己株式取得	141	
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>				
<b>キャッシュ・フロー 合計</b>				<b>356</b>

### 現金及び現金同等物

(期首残高)	3,684 百万円	→	(期末残高)	3,327 百万円
(1株当り)	653 円	→		602 円

営業活動によるCFは増加したが、投資有価証券やレンタル投資の増加などによりCF合計はマイナス

## 2008/12期 貸借対照表の主な増減

(百万円)

	07/12	08/12	増減	
流動資産	7,692	6,799	893	有価証券 825 売上債権 84 現金及び預金 56 たな卸資産 + 38 その他 + 34
固定資産	3,403	4,662	1,259	
総資産	11,095	11,461	365	投資有価証券 + 1,068 工具器具及び備品 + 111 繰延税金資産 + 107 その他 27
流動負債	1,159	1,453	294	
固定負債	479	516	37	未払法人税等 + 130 買掛金 + 115 その他 + 49
純資産	9,456	9,491	35	
自己資本比率	85.2 %	82.8 %	2.4 ポイント	
総資産回転率	0.63 回	0.60 回	0.03 回	当期純利益 + 600 剰余金の配当 282 自己株式の増加 141 評価・換算差額等 141
回収日数	84 日	81 日	3 日	
在庫日数	116 日	131 日	15 日	
支払日数	44 日	60 日	16 日	

総資産は増加したが、自己株式の増加などにより純資産は微増となり、自己資本比率は低下。  
資産の回転率や在庫日数の改善が課題

## 2008/12期 設備投資等の動向

(百万円)

	03/12	04/12	05/12	06/12	07/12	08/12	09/12 (計画)
設備投資額	345	332	741	436	368	631	645
減価償却費	356	355	399	489	486	520	659

内 レンタル投資	238	200	604	330	306	516	445
同上 減価償却費	218	207	253	348	337	387	493
同上 償却残高	501	483	820	770	724	839	791

IT投資	98	110	129	102	49	99	149
(リース含むIT投資)	(98)	(110)	(129)	(102)	(49)	(99)	(149)
総人員数	260	265	254	258	256	256	267
除く役員・パート・派遣	207	207	198	196	191	190	203

新物流システム開発分177百万円(08年80 09年97)を含む

**08は人工呼吸器のレンタル備品化を積極的に実施**  
**09はレンタル備品化の継続と新物流システム開発を計画**

## 2008/12期 次年度全社損益予想

(百万円)

	08/12		09/12		前年比較	
	実績		計画		増減額	伸び率
<b>売上高</b>	6,906	100.0%	7,300	100.0%	394	5.7%
売上総利益	3,193	46.2%	3,345	45.8%	152	4.8%
販売管理費	2,157	31.2%	2,255	30.9%	98	4.5%
<b>営業利益</b>	1,035	15.0%	1,090	14.9%	55	5.3%
<b>経常利益</b>	1,110	16.1%	1,120	15.3%	10	0.9%
税引前当期純利益	1,056	15.3%	1,120	15.3%	64	6.1%
<b>当期純利益</b>	600	8.7%	620	8.5%	20	3.3%
1株当たり利益(円)	107.09		110.52		3.43	3.2%
為替レート(US\$)	105.5		110.0		4.5	4.3%

## 2008/12期 次年度売上予想

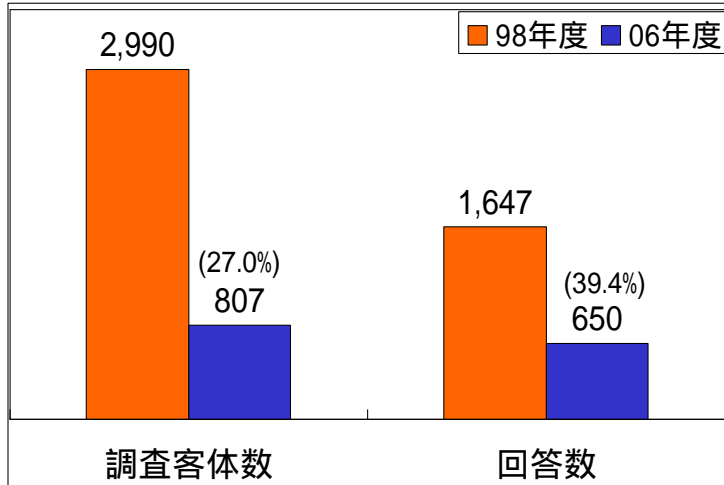
(百万円)

	08/12 実績	09/12 計画	前年比較		09重点活動
			増減額	伸び率	
生体機能補助・ 代行機器	1,358	1,516	158	11.6%	新型インフルエンザ対策を加えた 人工呼吸器販売戦略
生体情報計測・ 生体情報モニタ	323	352	29	9.0%	新型脳機能モニタ・コレラ等の拡販
その他商品	1,229	1,332	103	8.4%	新型ビデオ硬性挿管用喉頭鏡等の拡販
<b>IMI商品小計</b>	<b>2,912</b>	<b>3,200</b>	<b>288</b>	<b>9.9%</b>	
旧子会社等取扱商品	568	484	84	14.8%	
レンタルサービス	1,970	2,160	190	9.6%	契約期間の長期化・稼働率の向上
メンテサービス	1,456	1,456	0	0.0%	メンテナンスの見直し・新メニューの開発
<b>合 計</b>	<b>6,906</b>	<b>7,300</b>	<b>394</b>	<b>5.7%</b>	

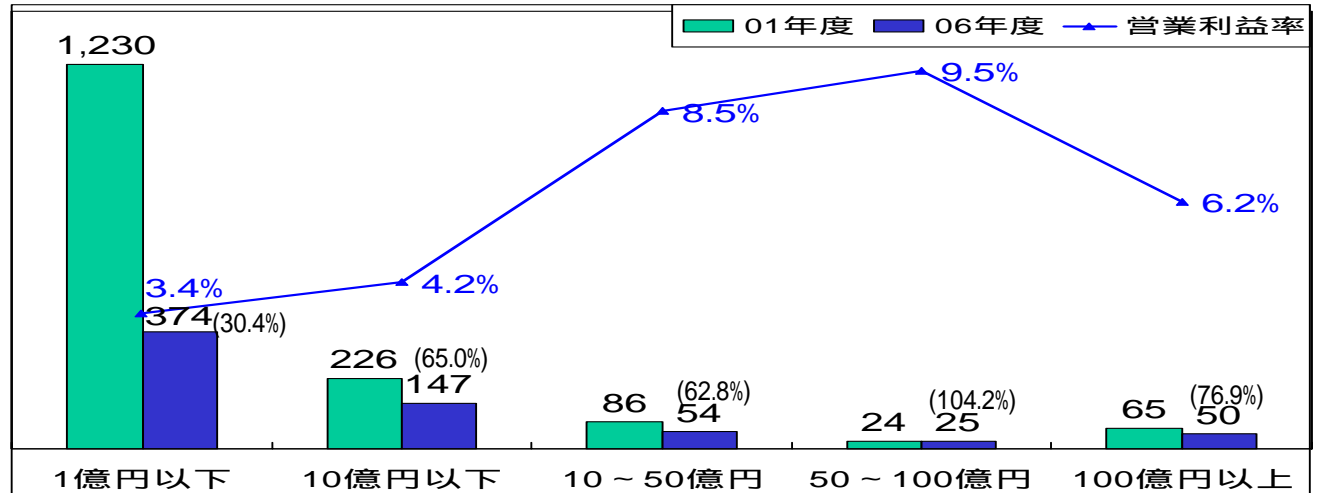
# 2006年度・医療機器産業実態調査「製造販売業」厚労省医政局経済課調査より

- ・2007年3月31日現在業態許可を受けた日本医療機器産業連合会会員企業対象
- ・2006年4月1日から2007年3月31日までの間に行われた決算を調査

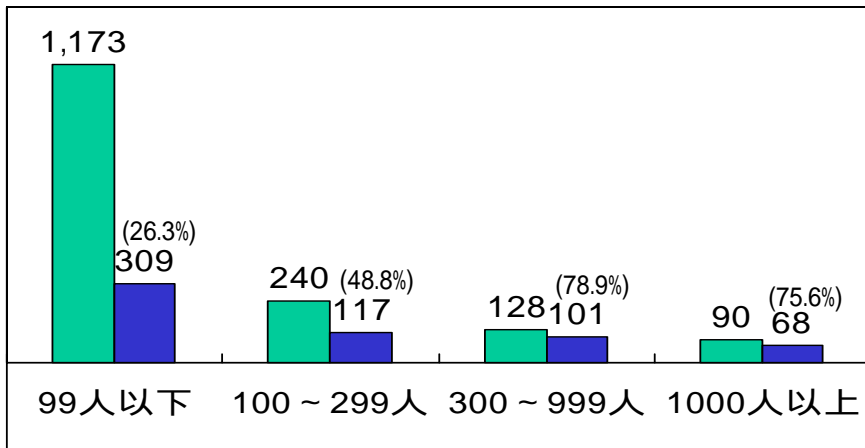
調査対象客体数及び回答数



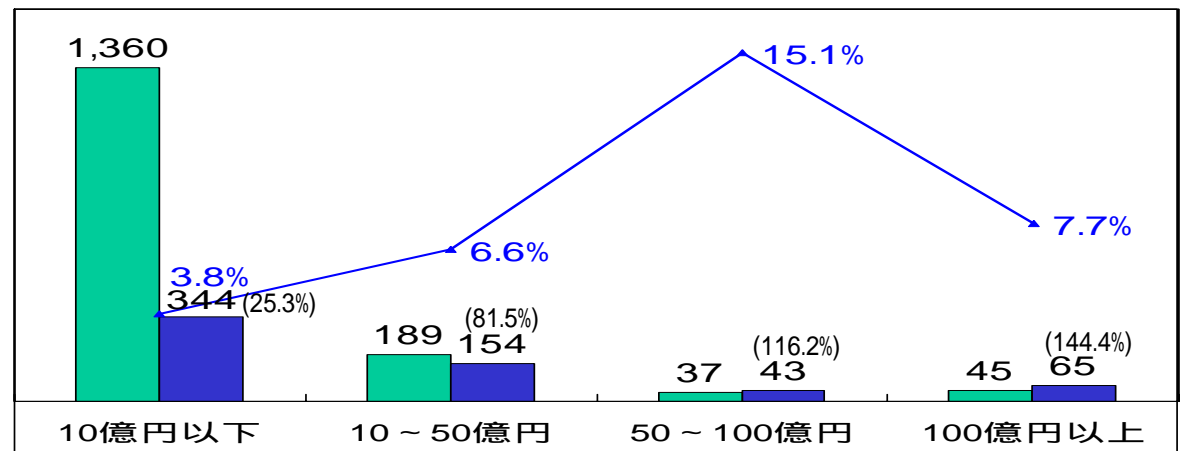
資本金規模別企業数 / 営業利益率 (2006年連結ベース)



従業者規模別企業数



医療機器関係売上高規模別企業数 / 営業利益率 (2006年連結ベース)



## 新型インフルエンザ対策用人工呼吸器の購入補助金が平成20年度補正予算で成立

2次医療圏約360箇所人工呼吸器各5台配備・総配備計画台数1800台  
1台216万円とし半額の108万円を国が補助、残りの108万円は自治体が負担。補正予算額20億円  
平成22年度予算で更に1800台の人工呼吸器が配備予定

健発第1016005号・平成20年10月16日・厚労省健康局長名で都道府県知事に通達された  
「新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業の実施について」より抜粋

### 「事業目的」

・都道府県が確保した新型インフルエンザ患者の入院医療を提供する医療機関において新型インフルエンザ発生時に入院患者に対する医療を提供する中で医療資器材の不足が生じ、迅速かつ適切な医療の提供ができなくなることに対応するため、必要な医療資器材についてあらかじめ整備し、医療体制の強化を図ること

### 「事業の実施方法」

- ・人工呼吸器の整備については新型インフルエンザ発生までの間において機能点検を行うなど、新型インフルエンザ発生時に患者に対して即時使用出来るよう新型インフルエンザ患者入院機関において適切に管理すること。なお、人工呼吸器の機能を維持する為、平時より使用することを認めるものとするが、実際に患者に使用する際には、早期の抜管が見込まれる急性期管理に限定し使用すること
- ・事業実施にあたっては対象医療機関が通常使用している医療資器材について事前に把握し、医療従事者が支障なく使用できるよう考慮すること

# 2009年販売サービス戦略 新型インフルエンザ対策 IMIの戦略

新型インフルエンザ・パンデミック対策を支援するため、伊藤忠商事を中心に結成された **ジャパンメディカルパートナーズ** に加盟するなど、人工呼吸器の大量販売戦略を開始しました。



伊藤忠商事 IMI アキレス スミスマディカル・ジャパン 日本船舶薬品  
マシモジャパン エイブル山内 オカト キンバリークラーク 3M 荏原実業  
パラマウントベッド 富士ビオ 日本通運 ALSO スーパーレックス

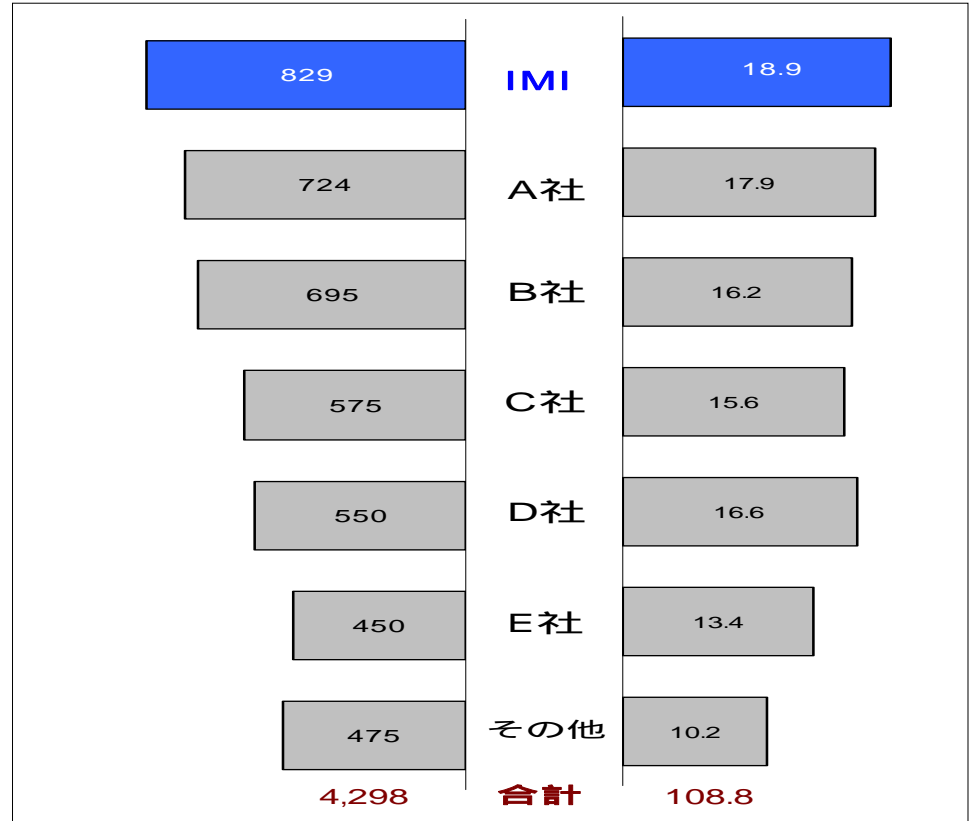
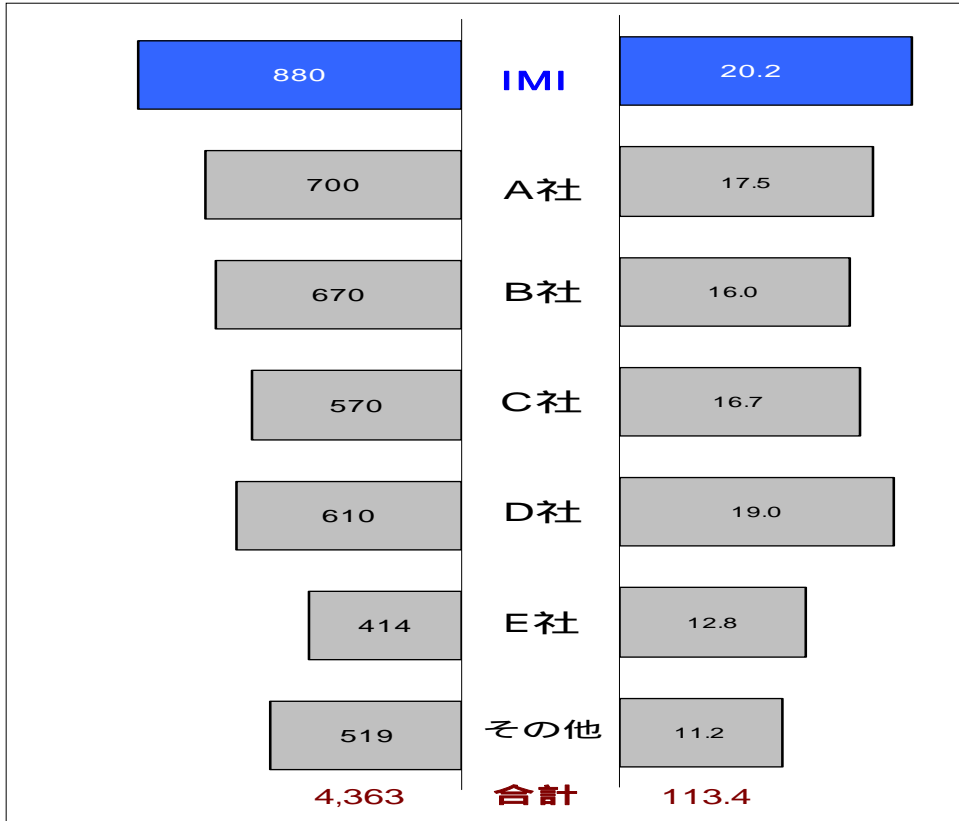
# 「人工呼吸器市場」 矢野経済調査レポート2008年度版より

人工呼吸器市場予測・新型インフルエンザ対策予算がオンされる可能性が高い

	07(実績)	08(予測)	09(予測)
「台数」	4,298	4,812	6,395 (132.9%)
「億円」	108.8	121.1	146.4 (120.9%)

2007年度人工呼吸器合計・発売元ベース・「台数」「金額」ともIMIがマーケットリーダー

(台数)                      2006年                      (億円)                      (台数)                      2007年                      (億円)

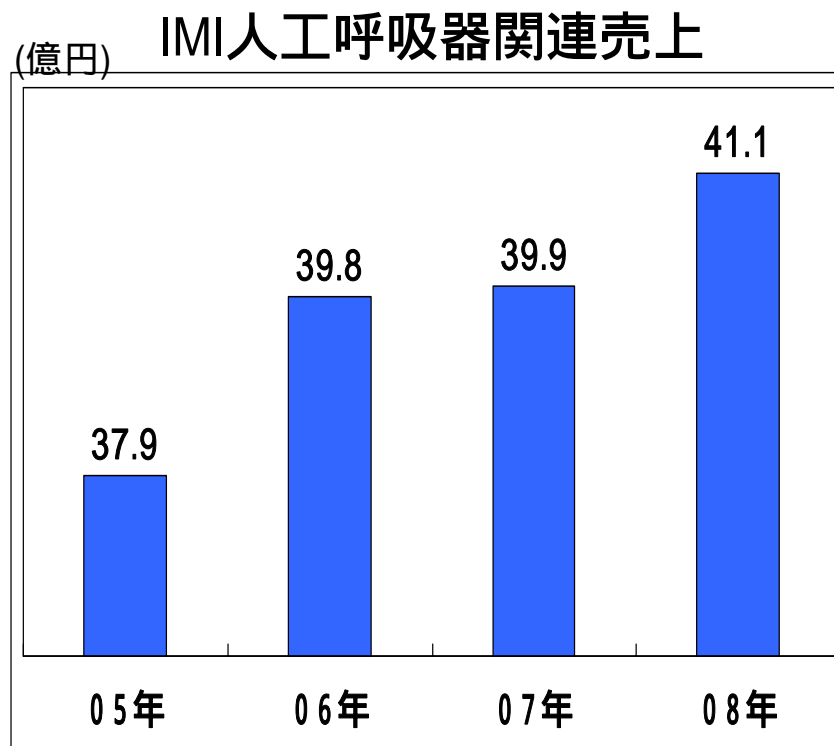


## 「人工呼吸器市場」 矢野経済調査レポート2008年度版より

IMIの人工呼吸器ビジネスは長期人工呼吸器の**病院販売**/**病院レンタル**/**在宅レンタル**/**救急用人工呼吸器販売**/**メンテナンス**/**教育システム**を充実させ競合企業の販売・メンテナンスとは違ったビジネスモデルを構築しており、販売は減少しているが人工呼吸器関連売上は毎年順調な売上を計上している



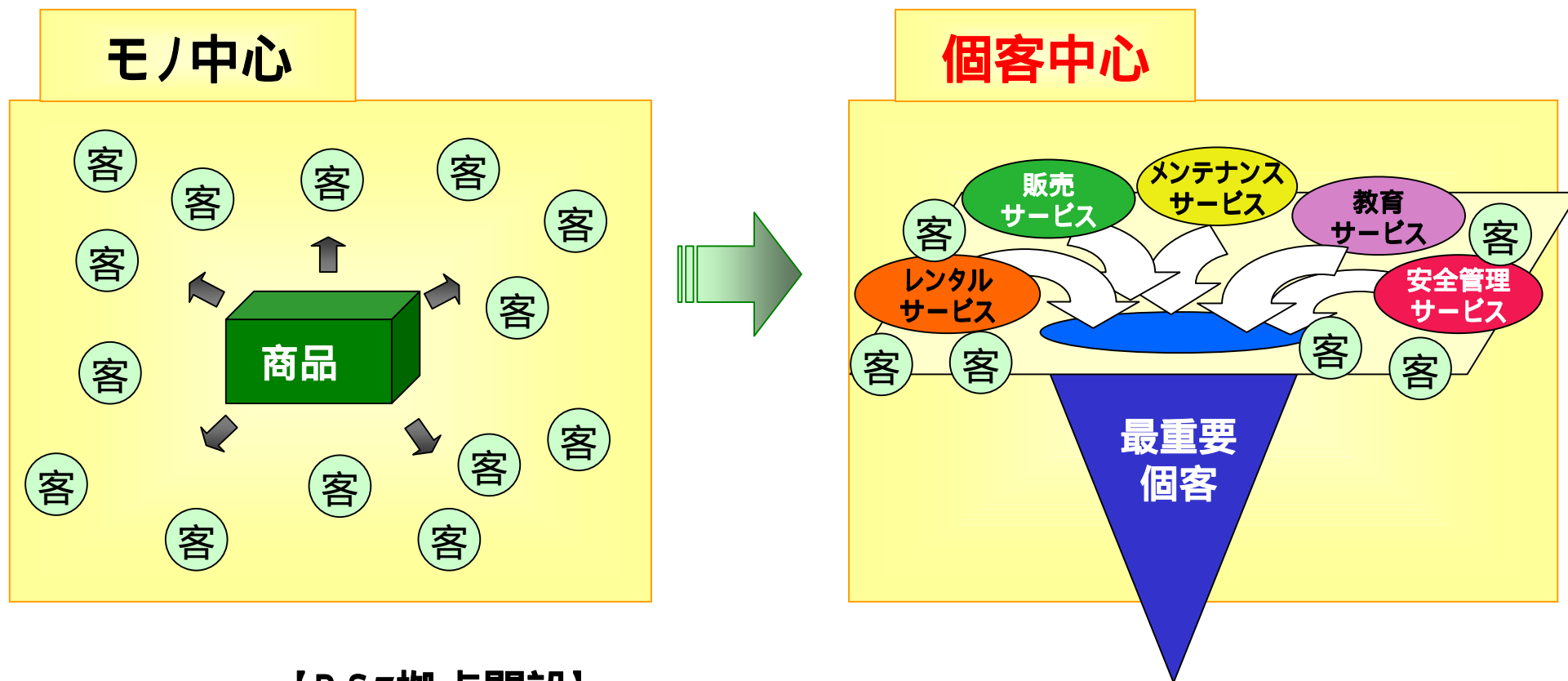
大人用人工呼吸器VELA



小児/大人用人工呼吸器レジェンド・IA



最重要個客の現場に密着し、迅速かつ付加価値の高いサービスを提供していくことを使命とするRSを全国に開設中



【RS7拠点開設】

札幌RS 府中RS 静岡RS 奈良RS 神戸RS 岡山RS 香川RS

将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資のご参考資料としてご提供するものです。したがって、当社の推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。予測と異なる結果となる可能性があるということをご了承の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。